

令和6年度 学校給食優良学校・優良共同調理場一覧

1 愛知県学校給食優良学校・優良共同調理場表彰紹介

1	半田市立乙川中学校	〈学級数〉32学級 〈児童数〉845名
	〈校長〉波田 聡	〈所在地〉半田市大池町3丁目1番地
<p>研究テーマを、「食に関心をもち、健康な体をつくる食生活を自ら実践する生徒の育成 ～未来で活躍する人材の土台をつくる教育実践を通して～」とし、食への興味・関心を高める場面を設定することで、生徒自身の食の課題を把握し、健康の保持増進のための望ましい食習慣を主体的に身に付けようとする姿勢を育てることをねらいとしている。</p> <p>家庭科での地場産物を取り入れたメニューを考案したり、保護者や地域に向けた食に関する発信を通して、食への興味・関心を図ったりして食育を推進している。</p> <p>また、給食の残食調査や食育に関する授業を通して、食の課題を把握し、改善を図る取組や学級活動や学校保健委員会を通して、よりよい食習慣の推進を図る取組も秀逸である。</p>		
2	安城市立桜井中学校	〈学級数〉24学級 〈生徒数〉744名
	〈校長〉杉浦 実憲	〈所在地〉安城市小川町的場丘1番地1
<p>学校教育目標「自ら考えて行動し、思いやりとたくましさのある生徒の育成」に向け、健やかな心身の発達のために「食を通して健康管理ができる生徒」を目指し、食育に取り組んでいる。栄養教諭を中心として教職員や地域・家庭との連携を計画的に進めたり、委員会活動等の生徒の主体的な活動を支えたり、特色ある実践を行っている。</p> <p>食に関する指導の全体計画にのっとり、「食事の重要性」や「感謝の心」、「心身の健康」を重視した食育の授業実践。毎日の給食の栄養素を栄養教諭がレーダーチャートで表し、校内に掲示をするとともに給食の時間にテレビ放送で流す取組。栄養教諭の思いや食材、献立の紹介などを毎日の「メッセージ」として記されている献立表や、食育だよりを毎月配付し、生徒の様子とともに食育に関する情報を伝える取組等、家庭・地域との連携に力を入れている。</p>		
3	県立港特別支援学校	〈学級数〉70学級 〈生徒数〉212名
	〈校長〉榊原 正意	〈所在地〉名古屋市港区港明一丁目10番2号
<p>障害の重度化により摂食・嚥下障害のある児童生徒が増加傾向にあるなか、学校給食における個に応じた食形態の調整がきめ細やかに行っている。栄養教諭と調理員を中心として、安全でおいしく、工夫された給食が提供され、一人ひとりの食べる機能の発達を促すための教材として、重要な役割を果たしている。また、「食に関する指導の目標」を各部に設定し、食べることや食べ物に対する興味・関心を高めること、児童生徒それぞれの実態に合った食形態や食事量を身に付け、健康の保持増進を図ること、望ましい食習慣を身に付けること等に向けて給食の時間を中心に指導に取り組んでいる。</p> <p>特徴的な取組として、令和5年度より、保健部と自立活動部が連携して「港の給食を考える会」を立ち上げ、児童生徒にとって適切な食形態の選択や、食形態の変更についての校内での手続きについて、より良いものにするために月に1回話し合いの場を設けている。児童生徒の食形態の変更を希望する際に、希望する形態が適しているかどうかの確認のための「試食」や、一定期間の試食を通して、児童生徒の食事の際の実態を把握し、適切な食形態を判断するための「移行食」を制度として設定した。また、摂食指導や食形態の変更について、担任や学年のみに任せるのではなく、チームで検討・判断するための場としてのケース会も行っている。</p>		

2 文部科学大臣学校給食表彰紹介（学級数・児童生徒数は令和5年度のもの）

1	名古屋市立富士見台小学校 〈校長〉佐野 知章	〈学級数〉31学級 〈児童数〉916名 〈所在地〉名古屋市千種区富士見台2-1
<p>テーマ「食を通して自己の生き方を考える児童の育成」を掲げ、食育に取り組んでいる。総合的な学習の中心に「食」を据え、食を通じた探究的な学習に取り組むことで、食において子どもたちが主体的に学ぶ姿を目指している。また、生涯にわたり健全な食習慣を身に付けるために、給食指導、校内掲示、交流学习を通じた「環境富化」（児童が意識的かつ無意識のうちに、食に浸ることができる環境を構築することを示す造語）によって、食に浸す時間を確保し、食に関する様々な経験、知識、選択する力を養いながら、食を通して自己の生き方を考えることができる人を育てている。</p> <p>さらに、家庭との連携を図るためのアンケート活動、給食調理場からの映像による調理員と児童の交流、毎日の献立を紹介する昼のTV放送など、ICTを活用した情報発信にも力を入れている。</p>		
2	豊田市東部給食センター 〈場長〉伊藤 浩之	〈共有学校数〉小24・中8校 〈総共有数〉9575名 〈所在地〉豊田市東山町6丁目1089番地
<p>豊かで魅力ある学校給食の実施を第一に、地産地消（豊田市では食べることを強調し「地産地食」）の取り組みとして、「豊田ブランドの日」（年5回）、「愛知を食べる学校給食の日」（年1回）を実施。白菜、なす、桃、なし、大豆など市内産農産物の積極的な活用や、令和3年度から市内産ブランド豚肉を使用したメニュー、令和5年2月からは食品ロス削減を目的とした新メニューを提供している。</p> <p>また、給食の時間に児童生徒用の資料と指導案を月2回配付し、端午の節句や冬至などの行事食や地場産物を活用した献立などを紹介したり、生産者の声、献立内容、栄養教諭等の紹介を取り上げた「給食ニュース」を年3回児童生徒、保護者向けにデータ配信したりしている。</p>		